

2月25日(月)～3月1日(金)まで蔵書点検のため、図書館は臨時休館します。

蔵書点検とは、お店でいう棚卸し作業のことで、図書館にあるおよそ12万点の資料(本や雑誌、CD、DVDなど)を1点ずつ蔵書目録データと照合し、確認を行います。ご理解、ご協力をお願いします

※児童館・歴史民俗資料館は、通常どおり開館しています。



新着コーナー

◇一般書◇

『スズメの謎』

三上修 著/誠文堂新光社

スズメは本当に減少しているのか?日本人の暮らし方が変わり、スズメが減少しているといわれているが、どんな問題があるのか?鳥の研究者が、スズメの少子化や個体数の減少を科学的に検証。

『人質』

佐々木譲 著/角川春樹事務所

五月下旬のある日。生活安全課の小島百合巡查部長が、札幌市街地のフィンバーで人質立てこもり事件に遭遇する。同日の朝に起きた自転車窃盗犯を追っていた佐伯警部補は連絡を受けて事件現場へ向かうが・・・。

『名もなき花の』

吉永南央 著/文藝春秋

小蔵屋を営むお草さんが珈琲を仕入れるミトモ珈琲商会が代替わり。事務的で冷たい感じのする2代目の女社長には、小蔵屋の近くに出店する計画が・・・。お草さんが街の事件を解決する「お草さん」シリーズ第3弾。

『私と踊って』

恩田陸 著/新潮社

『真田三代風雲録』

中村彰彦 著/実業之日本社

『螢草』

葉室麟 著/双葉社

『日本の旧家雑めぐりの旅』

萬真智子 著、家庭画報編集部 編/世界文化社

『ドーキンス博士が教える「世界の秘密」』

リチャード・ドーキンス 著、デイヴ・マッキーン 画/早川書房

『はじめてのオープン陶芸』

伊藤珠子、酒井智子 著、/誠文堂新光社

『武士に「もの言う」百姓たち』

渡辺尚志 著/草思社

『神道の美術』

加藤健司、畑中章宏 著/平凡社

おはなしの会

日時 毎週土曜日

2月2・16・23日(土) 午後2時～

9日(土) 午前10時30分～

場所 図書館内・おはなし室

◇児童書◇

『チャーリーのはじめてのよる』

ヘン・オクセンバリー 著、エイミー・ハスト ぶん

/岩崎書店

雪の日、ヘンリーは子犬をだっこして一緒に家へ帰ってきました。子犬にチャーリーと名づけて、家の中を見せてあげたり、一緒に寝たり・・・。子犬と男の子の友情のはじまりを描いた絵本。

『いじわる』

せなけいこ 作・絵/鈴木出版

いやなことがあったり、思いどおりにいかなかったり、いらいらしたりすると、つい誰かにいじわるしてしまいます。すると相手もいやな気持ちになって・・・。さあ、怒るのをやめて、にっこり笑おう!

『オニたいじ』

竹内通雅 絵、森絵都 作/金の星社

「オニはそと。ふくはうち!」今年のは、オニ役のおじさんではなくて、世界にいる本物の悪いオニを退治しようと考えた。小さな豆たちの大冒険を描いた楽しい絵本。

『犬のことばが聞こえたら』

パトリシア・マクラクラン 作、こだまともこ 訳/徳間書店

『サーカスの少年と鳥になった女の子』

ジェーン・レイ 作・絵、河野万里子 訳/徳間書店

『世界とであうえほん』

てづかあけみ、辻原康夫 監修/パイインターナショナル

展示コーナー

一般テーマ『新生活応援します』

春から社会人となる方へ。新生活への期待と不安が入り混じっている頃ではないでしょうか。社会人としてのマナーや、初めての一人暮らしに役立つ実用的な本を集めました。

児童テーマ『おくりもの』

2月14日はバレンタインデー。大切な人へ気持ちを届けるこの日にちなんで、お菓子や心があたたまるとようなお話を集めました。